

自由通路で可児駅の行き来が便利になります

可児駅東西を結ぶ自由通路の工事が11月から始まります。

現在の地下道から自由通路に変わること、どのように利用しやすくなるのかお知らせします。

問合せ先 都市整備課



可児駅東西自由通路の完成イメージ図

地下道から自由通路に

可児駅東西は地下道で行き来できるようになっていますが、バリアフリー化と利用者の安全確保が必要です。このため、JR可児駅と名鉄新可児駅の中間に跨線橋形式のエレベーター付き東西自由通路（以下「自由通路」）を整備します。

自由通路の幅員は20m、長さは約40mとなっており、鉄骨の階建て構造で、東西に設置した階段とエレベーターを使って反対側へ行き来できるようにします。また供用開始に合わせて、地下道と可児駅北側の今広踏切は閉鎖します。



自由通路内部の完成イメージ図

バリアフリー化で移動しやすく

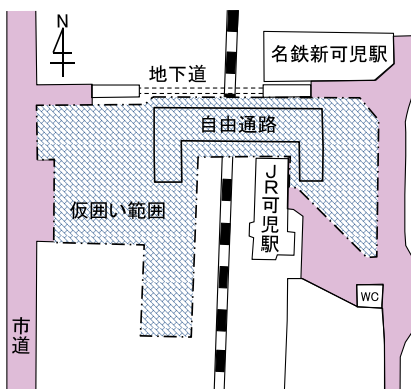
JR可児駅構内の上下線をつなぐ通路は現在は階段だけで、高齢の方や障がいのある方などは行き来が困難でした。

自由通路の整備と合わせて上下線ホームをエレベーターで結ぶ通路を整備し、上下線が行き来しやすくなります。エレベーターは自由通路と兼用で、JR可児駅の改札口は現状のまま東側のみです。

今後の予定と工事中のお願い

自由通路は11月に工事を始め、平成29年度末に供用を始める予定です。その後、東西の駅前広場を整備し、可児駅周辺は平成30年度に整備を完了する予定です。

工事期間中は安全確保のため、現場周辺を仮囲いします。JR可児駅と名鉄新可児駅間を迂回する必要があるため、駅を利用する人は時間に余裕を持ってご利用ください。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解と協力をお願いします。



工事期間中の駅周辺図